



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年1月27日
文責：校長 江上 知男

大寒波到来…まさに「冷凍庫の中状態」でした！



凍てつく中での登校



凍った運動場

1月24日～26日にかけて「10年に1度クラス」と言われる大寒波が日本列島を襲い、25日(水)は「寒さ」を通り越して「痛さ」を感じる朝となりました。私の車の表示で -5°C 、お隣の甲佐町では -9°C (観測史上最低気温)を記録したそうですから半端ではありません。幸いなことに、嘉島町の積雪は「うっすら」という程度でしたので、学校は通常通り運営することができました。

子どもたちは、極寒の中を元気に登校しました。登校中に、雪玉を作ったり、道が凍っていることを利用してスケートみたいに足を滑らしたりしていました。交差点の横断歩道の上が「つるつる」で、用心して渡っていました。また、登校後は早速運動場に出て雪玉を投げ合ったり、凍った中でサッカーをしたりしていました。普段できないことを経験して楽しむ子どもの姿をたくさん見ることができて、改めて「子どもたちは遊びの天才だなあ」と思いました。そして、併せて「経験に勝る知識はないなあ」と感じました。冬は寒い、雪は冷たい、氷は滑るということは、誰でも知っていることですが、実際にそのことを経験して自分がどう感じたのかを加えることによって、「知っている」が「わかっている」になるのだと思いました。

大人には「つらいつらい大寒波」でしたが、子どもたちにとっては、「経験値を1つ上げる大寒波」になったのではないのでしょうか。(余談：気温が低すぎて雪がサラサラで、雪合戦は難しかったです！)



楽しそうに学ぶ子どもたち

先生たちも学び続けています！

どの学校にも、校内研修という「教師が学ぶ時間」を設定しています。子どもの育ち方や取り巻く環境など、刻々と変化する教育的条件についていくためには、先生たちも絶えずアップデートする必要があるのです。

1月25日(水)は、甲佐小学校の赤星桂子指導教諭を招いて「道徳」の研修を行いました。1年1組で実際の授業を見せていただいた後、本校の先生方に向けたお話をさせていただきました。

それにしても、1年生の学ぶ姿が頼もしいこと。話を聞く姿勢や反応、そして自分の考えを一生懸命に話そうとする様子は、「1年間でこんなに成長するんだ」ということが感じられるものでした。授業をしたのは講師の先生でしたが、「これまでの担任の積み重ね」に対する感謝の気持ちでいっぱいになりました。このことは、1年生に限らず全ての学年に当てはまります。本校職員が「日々の学び」を続け、絶えず成長していることを心から誇りに思います。

前号ではPTA美化委員会の活動に触れましたが、1月19日(木)の夜にPTA文化委員会が図書室の整備をしてくださりました。本校のPTAは、執行部・専門部・やっただ隊等がそれぞれ主体的に活動されていることに「感動」しています。子どもたちのことを思って動いてくださって、心から感謝します。